

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 36 号

第 36 週(9月3日～9月9日)

発行年月日:平成19年(2007年) 9月13日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

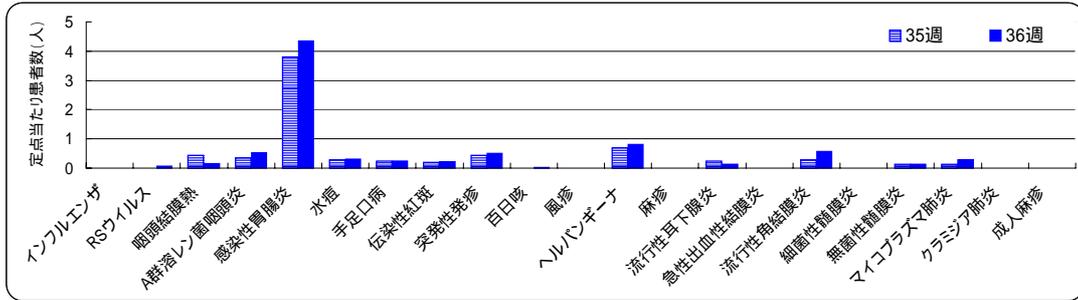
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

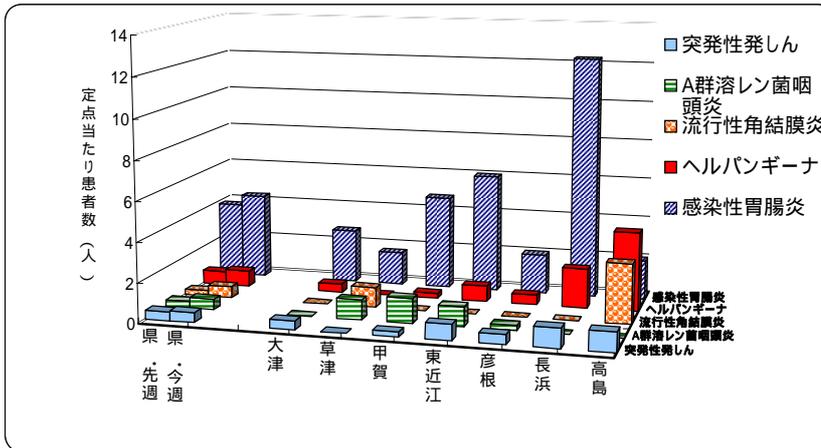
#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生は再び増加!! 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第31～36週)

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりやや多くなっています。大部分の疾患において先週より増加しており、減少した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)および流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、先週と同様、咽頭結膜熱(プール熱)で大津および東近江に、ヘルパンギーナで高島に警報が発生しています。全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で2名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で5名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

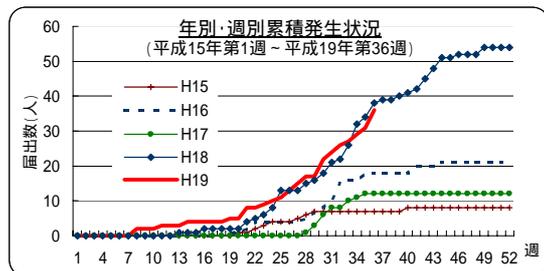
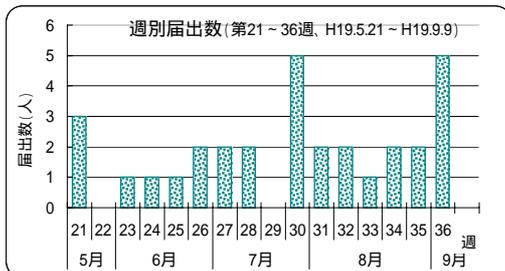


#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第36週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎、A群溶レン菌咽頭炎、突発性発疹の順に多くなっています。感染性胃腸炎は長浜で、ヘルパンギーナは高島で先週よりさらに多くなっています。また、流行性角結膜炎は高島で多くなっています。

#### 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況



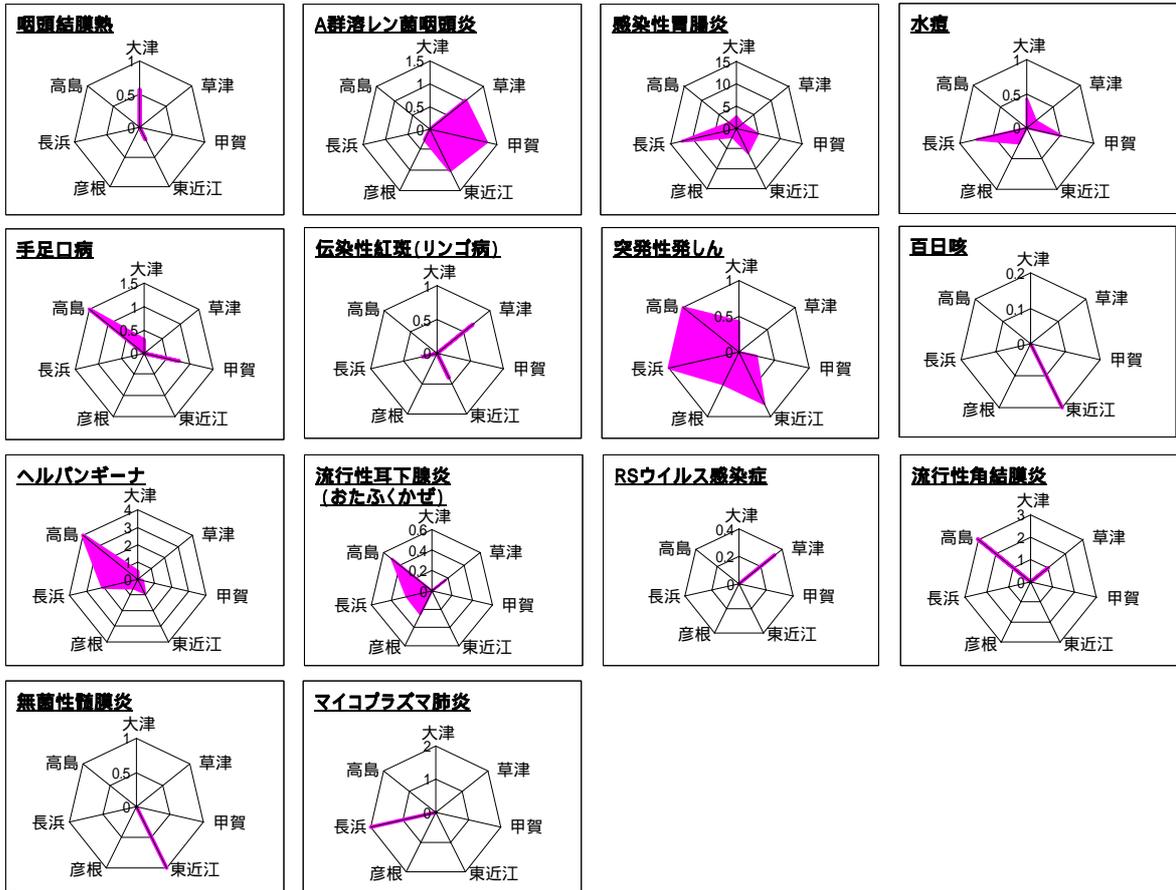


(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第36週、9/3~9/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0	0.33	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.57	0	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0	1.00	1.25	1.00	0.25	0	0	
感染性胃腸炎	4.34	2.71	1.67	4.75	6.00	2.00	12.25	2.00	
水痘	0.31	0.43	0.17	0.50	0	0.25	0.75	0	
手足口病	0.25	0.29	0	0.75	0	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0	0.67	0	0.40	0	0.25	0	
突発性発しん	0.50	0.43	0	0.25	0.80	0.50	1.00	1.00	
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.81	0.43	0	0.25	0.80	0.50	2.00	4.00	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0	0.17	0	0	0.25	0.25	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	1.00	0	0	0	0	3.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 1 2 3 4 5    
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



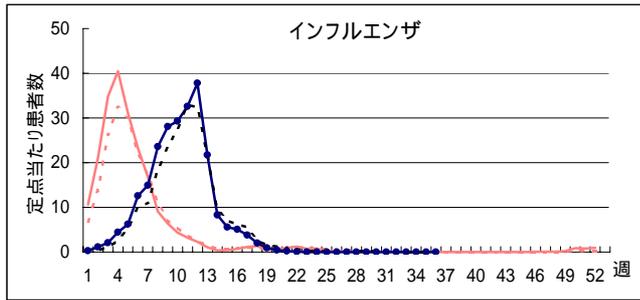
今週の発生状況:

- 咽頭結膜熱-----大津および東近江における定点当たり患者数が警報継続基準値(0.10)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。
- 感染性胃腸炎-----大津、長浜および高島で先週より増加しています。特に、長浜では再び急増し定点当たり患者数は12.25とかなり多くなっています。
- ヘルパンギーナ-----東近江、長浜および高島で先週より多くなっています。また、高島では警報継続基準値(2.00)を超えているため、先週に引き続き警報が発生しています。

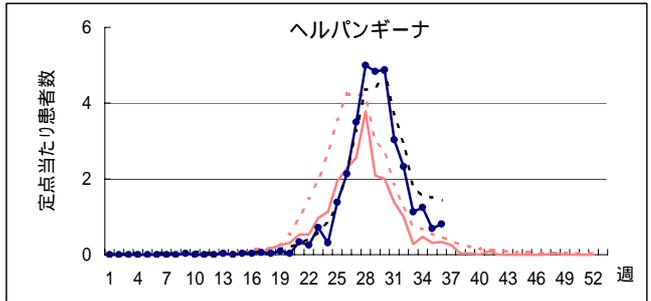
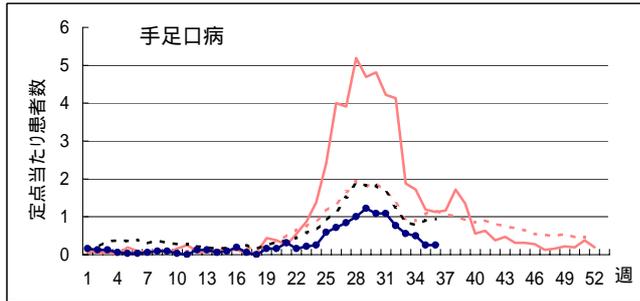
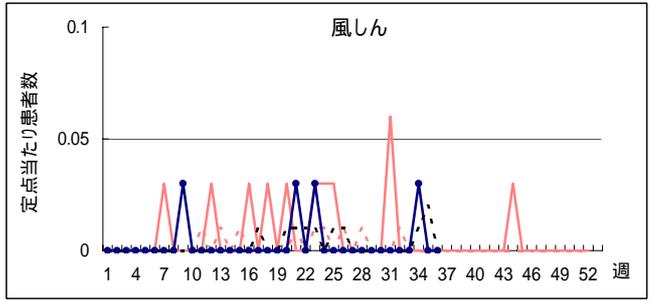
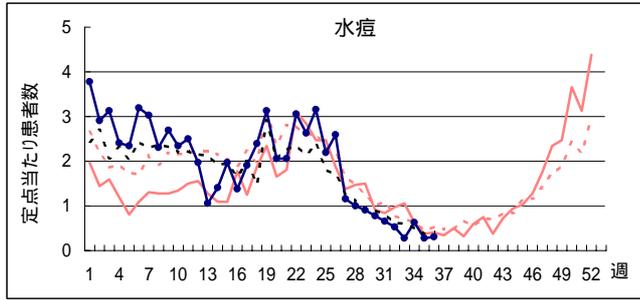
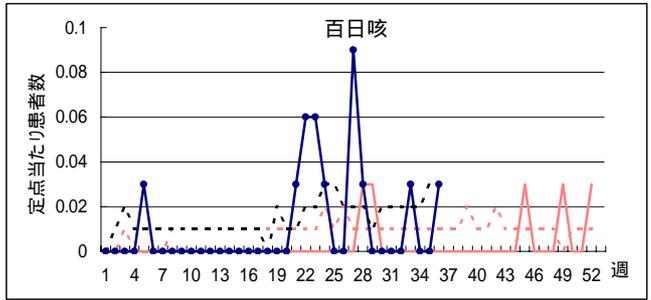
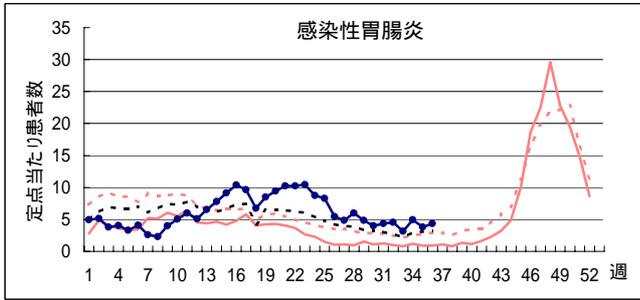
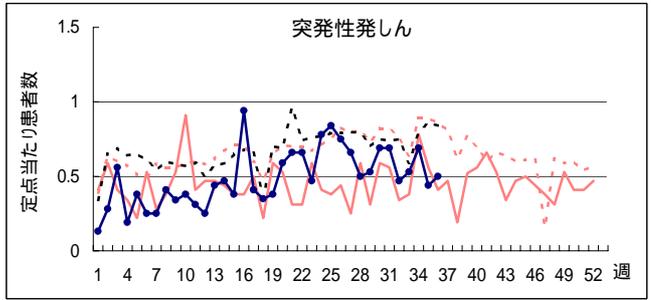
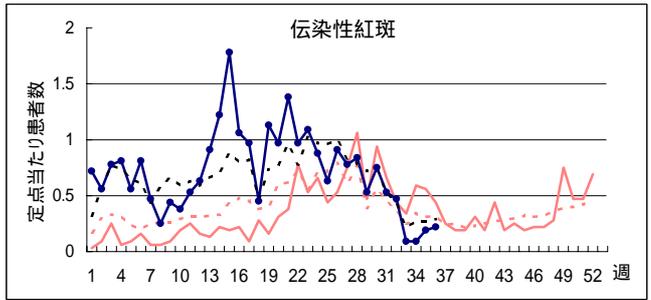
滋賀県における全数報告感染症の概要(平成19年第31~36週、7/30~9/9)

感染症類型	疾患名	1~30週の 累積報告数	31~36週の 報告年月日	概 要		
				病 型	推定感染地域	推定感染(原因)・ 感染経路等
一類感染症	報告なし					
二類感染症	結核	91	H19.7.30 H19.7.30 H19.7.30 H19.7.22 H19.7.31 H19.8.1 H19.8.1 H19.8.1 H19.8.2 H19.8.6 H19.8.7 H19.8.9 H19.8.9 H19.8.13 H19.8.15 H19.8.18 H19.8.21 H19.8.22 H19.8.27 H19.8.27 H19.8.29 H19.8.31 H19.9.5 H19.9.7	肺結核 肺結核 肺結核 その他の結核(初感染結核) 肺結核 肺結核 肺結核 結核性髄膜炎 肺結核 肺結核 肺結核 頸部リンパ管結核 肺結核 肺結核 結核性髄膜炎 肺結核 肺結核 肺結核 肺結核 結核性髄膜炎 肺結核 肺結核 結核性髄膜炎 肺結核 肺結核 肺結核	ブラジル 日本国内	不明 不明 不明 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 その他 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 不明 その他 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 不明 不明 不明 不明 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染 飛沫・飛沫核感染
三類感染症	細菌性赤痢 (~H19.3.31は二類感染症)	2 <sup>(*)</sup>	報告なし			
	腸管出血性大腸菌感染症	22	H19.8.3 H19.8.3 H19.8.8 H19.8.9 H19.8.13 H19.8.22 H19.8.22 H19.8.27 H19.8.27 H19.9.3 H19.9.4 H19.9.5 H19.9.6 H19.9.7	血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)/VT2(+) 血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)/VT2(+) 血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)/VT2(+) 血清型: O157 産性毒素型: VT1(-)/VT2(+) 血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)/VT2(+) 血清型: O157 産性毒素型: VT1(+)/VT2(+)	日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内 日本国内	不明 不明 不明 経口感染 (焼き肉) 経口感染 (生レバー) 経口感染 (焼き肉) 不明 経口感染 (焼き肉) 経口感染 (焼き肉) 経口感染 経口感染 経口感染 経口感染 経口感染
				* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型		
四類感染症	デング熱	1	報告なし			
	マラリア	1	報告なし			
	レジオネラ症	6	報告なし			
五類感染症	アメーバ赤痢	11	報告なし			
	ウイルス性肝炎	1	報告なし			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	6	報告なし			
	急性脳炎	1	H19.8.1		日本国内	不明

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第36週、H19.1.1～H19.9.9)



H18 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
 全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第36週、H19.1.1～H19.9.9)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

